

2019(令和元)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会 議事録

■開催日時 2019(令和元)年5月29日(水)
午後1時30分～午後3時30分

■開催場所 市役所本庁舎5階 全員協議会室

■出席者 (敬称略)

【委員】

辻本 勝久(和歌山大学)、大森 秀俊(伊賀市副市長)、前川 徹
(西日本旅客鉄道株 代理 森林 昇)、金口 正幸(近畿日本鉄道株
代理 山本 恒平)、藤巻 恵(伊賀鉄道株)、仲 範和(三重交通
株)、福田 政幸(三重交通労働組合)、四辻 純也(中部運輸局 代理
原田 知征)、久世 真(中部運輸局三重運輸支局)、番條 克治(布引
地域住民自治協議会)、添 誠(伊賀警察署交通課)、河本 直紀(名張
警察署交通課)、天野 圭子(三重県地域連携部交通政策課)、
森木 忠彦(三重県伊賀建設事務所)、加藤 幸生(市民公募)、
福澤 正志(伊賀市障害者福祉連盟)、宮崎 寿(伊賀市企画振興部長)

【事務局】

交通政策課 福岡、吉岡、坂森、吉福
各支所振興課長、課員

■傍聴人：3人

■会議概要

1. 開会

交通政策課長 福岡

会長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日はお集まりいただき、ありがとうございます。
昨年度の取組みを見ていますと、福祉の助成対象に伊賀線が追加になる
等、取組みを進めていますが、利用者は思ったように推移していない。今、
100年に1度の変革の時期が来ているように思う。スマホで決済まで済ま
せられるケースや、自動運転、シェアカー等、大きな変化が起ころうとして
いる。そういったところも勉強しながら、伊賀市の交通も見直しの時期が来
ているのかと思う。今年度も皆さまにご協力いただきたいと思いますので、
よろしくをお願いします。

・委員、事務局 自己紹介

2. 協議事項

(1) 役員の選出について

事務局から説明

【質疑応答】

委員	事務局の方で、何か案はないか。
事務局	事務局の案としては、和歌山大学経済学部教授の辻本勝久様を会長に、大森秀俊伊賀市副市長を副会長に、また監事には、三重県伊賀建設事務所副所長の森木忠彦様、三重県地域連携部交通政策課長の天野圭子様をお願いをできればと考えています。如何でしょうか。
委員一同	異議なし。

【承認】

会長あいさつ

先ほど、会長に選出されました。よろしくお願いいたします。 是非とも、活発なご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

・協議に先立ち三重運輸支局から、パンフレット「活発で良い議論ができる会議のために」の内容について説明

(2) 規約の改正について

事務局から資料1に基づき説明。

【質疑応答】なし

【承認】

(3) 2018(平成30)年度決算について

事務局から資料2に基づき説明。

【質疑応答】なし

【承認】

(4) 2019(令和元)年度予算(案)について

事務局から資料3に基づき説明。

【質疑応答】なし

【承認】

(5) 伊賀市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

事務局から資料4に基づき説明。

【質疑応答】

委員 (伊賀 鉄道)	<p>伊賀鉄道について、補足をさせていただきたい。伊賀神戸、茅町、上野市の3駅に、多言語対応の自動券売機を導入した。沿線の施設の写真も表示され、写真を押すと最寄り駅までの切符を買うことができる。</p> <p>他機関との連携も進めており、FCくノ一の選手に1日駅長をしていただいたり、車内に選手の写真を飾ったりした。また、図書館と連携して、車内で読み聞かせを行ったりもした。2019年度も他機関との連携を、よりパワーアップして進めてまいります。ハイキングではJRさんと連携を進めて、双方で広報をしてより多くの方に来ていただくようとしています。3月に酒蔵見て歩きを実施し、JRさんにも宣伝いただき、3割お客様が増えた。今年度も、上野市を出発して島ヶ原に到着するハイキングを考えている。こちら、JRさんとタイアップして、より多くの集客に努めたいと考えている。</p>
委員	<p>市内のバスでスクール混乗を開始したと聞いた。ご意見とかは上がっているか。</p>
委員 (副市長)	<p>スクールバスのときと異なり、土曜、日曜も部活等でバスを利用できるので、便利になったかと思う。保護者からは、定期券を持っていれば終点まで使えるようにしてくれればありがたいとの話が出ている。いい内容と思うので、検討できればと思う。</p>
委員	<p>施策45にある免許返納について福祉の取組みが書かれていたが、交通政策課として直接取り組まないのか。</p>
事務局	<p>所管でいきますと免許返納の目的といったところが交通安全が主になってきますので、市の中でいえば市民生活課というところがございます。ただ、そちらと切り離しては考えられないので、市の内部で調整しながら進めていけたらと考えています。</p>
委員	<p>免許返納時に、警察署や免許センターでマイ時刻表レベルのも</p>

(三重県)	のを渡すことができればと思うが、県の職員がすべての窓口で待っているわけにもいかないの、警察等と協力して少しでも不安を払拭できればと思っている。
会長	マイ時刻表というのは、一人ひとりに違う時刻表をオーダーメイドで作っていただけということか。
委員 (三重県)	他の市で作っているところがあるが、窓口で非常に手間がかかると聞いている。
委員 (伊賀警察署)	免許返納した後のフォローは警察にはできないので、フォローしていただくとありがたい。思いつくのは、各駅の時刻表やバス停の時刻表といったあたりか。我々もアイデアを出しながら進めていければと思う。
会長	警察、交通、福祉が連携しないと進んでいかない。市の新庁舎が開庁した後の、四十九駅の利用状況はどうですか。
委員 (伊賀鉄道)	開駅後、1日あたり150～160人で推移していましたが、4月の実績で240人まで増えています。市職員が40名前後定期利用いただいているので、その数字とも合致します。
委員	バリアフリー化の検討は、交通政策課としてどこを優先的に取り組むのか。また、これまでの経緯も教えてほしい。
事務局	古くからある施設もあり、なかなか進んでいない現状があります。エレベーターの設置についてご要望もいただいておりますが、現状の乗降者数ではなかなかそこまで取り組むことができないということがございます。 いろいろな手法もあろうかと思っておりますので、各交通事業者様と協議しながら進めていきたいと思っております。

【承認】

3. 報告事項

- (1) 2018(平成30)年度バス路線別実績及び評価について
事務局から資料5に基づき説明。
三重交通株式会社から資料に基づき説明。

【質疑応答】

会長	廃止代替バスについて説明会を行ったとのことだが、反応はどうだったか。
事務局	今現在あるものは残してほしいというご意見をいただいております。また、抜本的な改善が必要ではないかというご意見も多くいた

	<p>だきました。</p> <p>路線によっては、平均乗車密度が1に満たないという厳しい現状も説明させていただきました。当日みえた住民自治協議会の会長さん方も非常に驚かれていました。通学利用を大事にしながら、精査していく必要があるというご認識だったと思っています。</p>
--	--

(2) JR関西本線の継続的な運営について
西日本旅客鉄道株式会社から説明。

【質疑応答】

委員 (JR 西日本)	<p>1日の利用者が3,000人/日未満の駅については、駅のシンプル化を進めています。満足する駅舎を維持することが厳しい駅については、古い駅舎の建替えを進めています。近隣では、香久山駅、柳本駅の建替えを行っています。</p> <p>関西本線の5つの駅舎のうち、新堂駅の旧駅舎は解体するというので進めています。2019年度の事業は新堂駅ですが、他の駅も古いので、先ではございますが進めていきます。</p> <p>住民の方からいろいろなお声をいただいています。駅舎を壊さずに憩いの場というご意見をいただいたりもしています。</p> <p>小さな駅になりますが、気持ちよく使っていただけるようにしたいと考えています。</p>
会長	建替え後、どういう設備が残るのか。
委員 (JR 西日本)	<p>信号を扱う機械があるので、それだけをコンパクトにまとめて残します。その他の駅舎も信号機器はありますのでそれを残すという方向で、あるいは駅舎を行政へ譲渡というかたちにはなろうと思うが、自由に使っていただくというかたちでしていただこうかなと思っています。</p>
会長	雨降り対策や、いすはどうか。
委員 (JR 西日本)	<p>小さな屋根になるかもしれませんが、屋根のある駅になります。</p>
会長	新堂駅の周辺をよくするという動きがあると聞いたが。
事務局	<p>新堂駅前にビルを建設する予定です。JRさんと協議して、跨線橋をエレベーター式にすることを考えています。場所は、駅前公園の一角に建設予定です。</p> <p>近くに立地するDMG森精機さんが、地域貢献として投資され</p>

	るものです。ワイナリー等、計画されていると聞かせていただいております。
会長	そういった非常に前向きな動きがあることは、期待できる。

(3) (仮称) 第2期伊賀市地域公共交通網形成計画の策定について
事務局から資料6に基づき説明。

【質疑応答】なし

(4) その他

【質疑応答】

委員	忍者バスはどういう運行状況か。
事務局	上野コミュニティバスしらさぎについてのご質問と思いますが、車両2両のうちの1両を新車両にいたしました。導入にあたり、公募のデザインを採用するとともに、財源はガバメント クラウドファンディングで寄付を募り、市外の方からのご協力をいただきながら進めています。市外へPRをするツールとしても期待しており、アヴァンギャルドなデザインですが、思ったより景色に合っているのご意見をいただいています。
委員	佐那具駅のトイレは市が負担しているのか。
事務局	市の事業として設置しています。
委員	関西本線の駅のシンプル化で、トイレはどうなるか。
委員(JR)	シンプル化といっしょにトイレも撤去したいが、行政さんといっしょになんとかしたいと協議をしているところです。
委員	先日四国へ行ったが、山の中でもトイレがあった。トイレは付けていただきたいと思う。
会長	シンプル化した香久山駅はどうなっているのか。
委員(JR)	トイレはございません。
委員(近鉄)	別件ですが、当社の列車検索システムで、接続を取っているはずの列車が出て来なかった。ちゃんとしなくてはいけないことなので、会社へ持ち帰って確認したい。

(終了)